

# わたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介いたします。

## 沖縄市

健康展を三七自治会で同時開催。地域ぐるみで生活習慣病予防対策に取り組む。

沖縄市では、生活習慣病予防対策として、各公民館で「ヘルシーおきなわシテイ2010・三七運動」を開催しています。「三七運動」は、市内にある「三七の自治会の数」と「みんな」という語呂に合わせ、毎年三月七日に、全自治会が同時に実施するというユニークな試みで、今年で二回目を迎えました。



運動指導士と保健師による筋力トレーニング指導(池原自治会)

「三七自治会同時開催」という案が出たときには、「でーじなとーん



チームワークばっちり！沖縄市各自治会の代表の方々！

とあわてたという沖縄市自治会協議会の大城信男会長。「でも、健康づくりは大切なこと」と考え直し、「地域に近い公民館なら参加者の方も足を運びやすく、これを機会に自治会を身近に感じてもらえればと思い、引き受けることにした」と言います。

医師や管理栄養士、運動指導士による食事と運動の指導など、市が提案した活動内容の中から、各自治会が選り運動を担うという連携プレイは、お互いの得意分野を活かすことで、無理のない活動につながりました。事務局として指導者の手配や広報を



市民健康課 神村 睦子さん 大城 信男会長 市民健康課 佐久田 由美也さん

沖縄市役所 健康福祉部 市民健康課  
TEL.098-939-1212(内線2242)

担当している市民健康課の神村睦子さんは、「指導者の調整に苦労することもありますが、自治会みなさんの頑張っている姿を見ていると弱音は吐けません。何よりも三七運動を通して、自治会長さんから地域の健康づくりの思いを聞いたことは、大きな財産です」と地域住民との協働の成果を語ります。

## 名護市

地域の担い手となる子どもたちを、地域の大人の目で見守る「子どもの家」

ある日の午後、名護市の県営宇茂佐団地から子どもたちの賑やかな笑い声が聞こえてきました。任意団体「名護子育て支援塾」が運営する「子どもの家」がいます。

放課後の子どもたちの居場所づくりとして、平成十三年にスタートした子どもの家は、子育てサポーターの先生方が、週二、三回(一日三時間)、放課後の子どもたちの生活を見守っています。



宇茂佐団地集会場に設置された「子どもの家」



子育てサポーター 金城 勝美さん 岸本 能子副塾長 大城 幸子塾長

「地域社会とのつながりが薄れているなか、具体的な行動を起さなくては、子どもの家を開所しました。市長からサポーターに認定書が発行されるなど、現在は市の事業に位置付けられ、区長さんをはじめ地域のみなさんにも協力いただいております」と語る塾長の大城幸子さん。

当初、「一力所だった子どもの家は、今では十八カ所が増え、名護市が予算や広報などを担当し、「名護子育て支援塾」が市の委託を受けて運営しています。

子どもの家の特長は、「公民館や県営団地の集会場を活用している」という岸本能子副塾長は、「子どもの

ころから、豊年祭などが行われる公民館に足を運ぶことで、いずれは地域の担い手になってほしいとの願いを込めている」と活用意義を話してくれました。

平成十八年に子どもの家づくり事業の一環として実施した「じーぼと遊ぼう」では、地域の知恵袋であるお年寄りを通して、方言、伝承遊び、踊りなどを継承する活動も行われ、家にひきこもりがちだったお年寄りが元気になったという相乗効果も生まれました。今後は、ミニデイサービスのお年寄りたちと子どもたちの異年齢交流を深める事業も計画され、「五十五の字すべてに広げていきたい」と意欲を燃やしているみなさんです。



「塾役員や区長をはじめ、地域のみなさんの理解がなければできない事業です」と語る大城美智子さん

名護市教育委員会 社会教育スポーツ課  
0980-5315438  
(担当 大城美智子)

## 編集後記

5月といえば「子どもの日」ですね。鯉のぼりも、うりすんの風を受けて気持ちよさそうに泳いでいます！だんだんと暑くなってきましたが、暑さに負けずに野球がんばります！(ノア)

先日、開催5周年を迎えた「琉球海炎祭2008」に行ってきました。華道家の假屋崎省吾氏の生け花を一万発の花火で再現した、華火の美しさとその迫力にはただ圧倒されるばかりでした。来年も行ってみたいと思います。(Tak)

## 美ら島沖縄

企画・編集 沖縄県知事公室広報課  
発行 沖縄県知事公室広報課  
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2  
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文:今泉 真也  
輪になって座る。単純だけど、人の心を繋ぐ一番の近道。昔ながらの場を大切にすることで未来は創られる。幸せはいつも足元から。

■P12-P13 季節情報提供  
(財)沖縄観光コンベンションビューロー



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！